

# 取扱説明書 (国内販売用)

## ■ リスタガン MG-6C

この取扱説明書に示された警告事項および注意事項は必ず守ってください。  
使用時に不用意に塗料が噴出したり、有機溶剤の吸引により重大な身体上の障害を起こすことがあります。  
△ 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

<b>警告</b>	警告内容を怠った場合、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。
<b>注意</b>	注意内容を怠った場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生する可能性が想定されることを示します。
<b>重要</b>	この記号は、機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくために守っていただきたい内容を示しています。尚、本取扱説明書で示す安全事項は、必要最低限のものであります。国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則又、それぞれの企業や事業所で規則、規定として守るべき事項に従ってください。

この取扱説明書は、安全にご使用いただくために重要な警告、注意事項および取扱い方法について記載しています。  
この取扱説明書で扱われている機器は、塗装業務用途の商品です。他の用途には使用しないでください。正しい取扱指導を受けられ、機械の操作方法を理解された方以外の方は、使用しないでください。  
ご使用前に、必ずお読みになり、十分理解してからご使用ください。  
本書はすぐに確認できる場所に大切に保管してください。

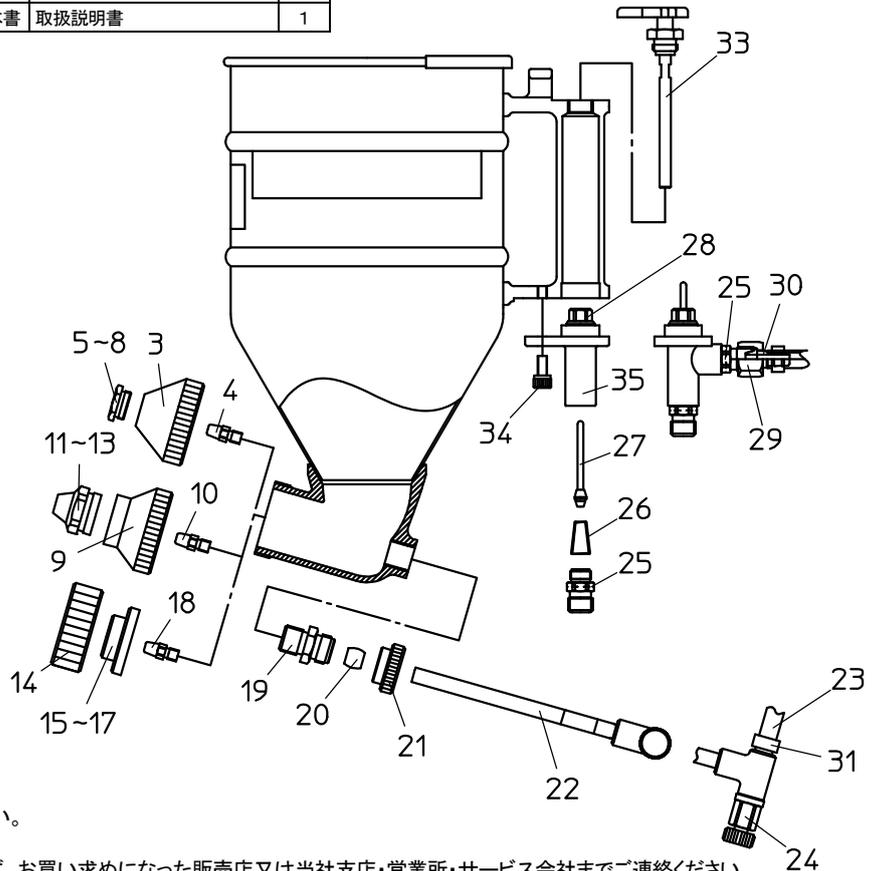
### 主要仕様

形式	用途	霧化方式	ノズル・口金 口径 φ mm	空気ノズル 口径 φ mm	吹付空気 圧力 MPa	容器容量 ℓ	エアホース取付ねじ サイズ	所要コンプレッサ kW	質量 g
MG-6C	タイル	内部混合	5, 6.5, 8	2.5, 3	0.10~0.29	3.0	G1/4	0.75~2.2	720
	リシン・モルタル		3.8, 4.5, 6, 8	1.8					
	スタッコ		8, 12, 15	2.5, 3(タイル用と兼用)					

## ■ 部品名称

No.	品名	数量
1	銘板	1
2	容器セット	1
※ 3	キャップ(1)リシン、モルタル用	1
※ 4	空気ノズル(φ1.8)リシン、モルタル用	1
※ 5	ノズル(φ3.8)リシン、モルタル用	1
※ 6	ノズル(φ4.5)リシン	1
※ 7	ノズル(φ6)リシン	1
※ 8	ノズル(φ8)リシン	1
※ 9	キャップ(2)タイル用	1
※ 10	空気ノズル(φ3)タイル用	1
※ 11	ノズル(φ5)タイル用	1
※ 12	ノズル(φ6.5)タイル用	1
※ 13	ノズル(φ8)タイル用	1
※ 14	カバー スタッコ用	1
※ 15	口金(φ8)スタッコ用	1
※ 16	口金(φ12)スタッコ用	1
※ 17	口金(φ15)スタッコ用	1
※ 18	空気ノズル(φ2.5)スタッコ用	1
※ 19	ガイド	1
◆ 20	スリーブ	1
21	固定ツマミ	1
22	空気パイプセット	1
23	ウレタンエアホース	1
24	空気量調節装置	1
25	空気ニップル	2
26	空気弁ばね	1
27	空気弁	1
◆ 28	空気弁シートセット	1
29	袋ナット	1
30	竹の子ジョイント	1

31	ホースバンド	2
32	注意ラベル	1
33	バルブ押しセット	1
34	六角穴付きボルト	1
35	バルブ本体	1
※	本書 取扱説明書	1



- ◆ 印部の部品は消耗品です。
- ※ 印部の部品は付属品です。
- ◎ 部品御注文の際は、形式及び上記No. 品名を御指定ください。
- ◎ 開封時、破損や欠品がないことを確認してください。
- ◎ 欠品、輸送上の損傷がある場合は危険防止のため使用せず、お買い求めになった販売店又は当社支店・営業所・サービス会社までご連絡ください。

## 安全にご使用頂くための警告事項

### 警告

#### 火災と爆発

1. 吹き付け作業場は、火気厳禁です。
  - ・塗料は引火性があり火災の危険性があります。
  - ・たばこ、点火、電気機器等、引火の恐れがあるものは必ず避けた所でご使用ください。
2. 次のハロゲン化炭化水素系溶剤は使用しないでください。  
化学反応により、本体(アルミニウム部分)にクラック、溶解が発生します。
  - ・不適合溶剤: 塩化メチル、塩化エチル、二塩化メチレン、二塩化エチレン、四塩化炭素、トリクロルエチレン、1,1,1トリクロロエタン 等  
(特殊な塗料やシンナーは充分適合性を検討した上でご使用ください。適合性検討のための材質リストを提出する用意があります。)
3. 確実にアースを接続してください。  
アースが不十分ですと、静電気のスパークによる火災、爆発の危険性があります。



#### 機器誤用

1. 絶対に人や動物に向けてスプレーしないでください。  
目や皮膚の炎症、人体への危険があります。
2. 洗浄、分解、保守作業をする前及び作業中断時には必ず塗料と空気の圧力を逃がしてください。  
圧力が残っていると、誤動作、洗浄液の飛散により人体に危険があります。
3. 使用する際は、各部の取付け、調整が適切かどうか確認後操作してください。  
作業中エアースーツ等が抜け、塗材等の飛び跳ね、エアースーツによる怪我、傷害等重大な身体上の危険があります。



#### 人体保護

1. 吹き付け作業は、塗装ブース等を使用し、換気の良いところで使用してください。  
換気が不十分ですと有機溶剤中毒や引火の危険が増えます。
2. 常に適切な服装または保護具を着用してください。(眼鏡、マスク、手袋)  
目や皮膚に洗浄液等が付き炎症を起こします。  
目や皮膚に異常を感じたら直ちに医師の治療をうけてください。
3. 健康安全上耳栓の着用をお奨めします。  
使用条件、作業環境により、騒音値が80dB(A)以上になる場合があります。



#### その他

1. 製品の改造はしないでください。  
十分な性能が発揮できないばかりか、故障の原因となります。
2. 食品用や化学薬品用には使用しないでください。  
塗料通路内部の腐食による事故発生や異物混入による健康障害の可能性があります。
3. 異常を発見したら直ちに使用を停止して原因を調査してください。異常が解決されるまでは再使用しないでください。

## 準備

- (1) エアースーツの接続  
ボールバルブのねじ部(G1/4)にコンプレッサーよりのエアースーツを接続し、エアースーツを入れ空気ノズルよりエアースーツが噴出することを確認してください。

## 吹付模様の調整

- (1) 吹付空気圧力  
空気圧力調節装置で、適切な空気圧力に調節してください。
- (2) 空気ノズルの出入り長さ調節  
手順① 固定ツマミを緩め、空気パイプセットを移動し、空気ノズルの位置を調節します。  
手順② 位置調整後、固定ツマミで締め付け、確実に固定します。  
(空気パイプの溝は、出入り長さ調節時の目安となっています。固定ツマミからの溝位置を出入り長さの目安とし、塗材や吹付模様により、出入り長さを調節してください。)

### <調節方法の概要>

ノズル・口金、吹付空気圧力、空気ノズル出入り長さなど吹付模様の大きさは、塗料により異なりますが、概略次のような傾向があります。

模様	小 ←————→ 大
ノズル、口金 口径	小 ←————→ 大
吹付空気圧力	低 ←————→ 高
出入り長さ	長 ←————→ 短

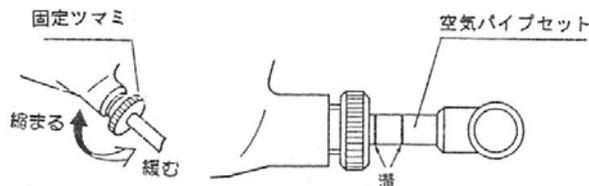


(参考) 塗料粘度は、塗料メーカー指定の粘度調節方法により調節してください。

### (3) 空気パイプセットの調整と標準位置

・空気ノズル、ノズル、口金、キャップ、カバーの組合わせを次の表を基準に選定してください。

吹付塗材	空気ノズル 口径(mm)	キャップ 形状	塗料ノズル・口金	
			形状	口径(mm)
タイル	2.5・3			5・6.5・8
リシン モルタル	1.8			3.8・4.5・6・8
スタッコ	2.5・3			8・12・15



空気パイプセットの溝は、出入り長さ調節時の目安となっています。塗料や吹付模様により溝を基準として出入り長さを調節してください。

### (4) 空気パイプセットの出入り長さ調節

空気パイプセットの出入り長さ調節は固定ツマミを緩めると左右に前後します。調整後は確実に固定してください。

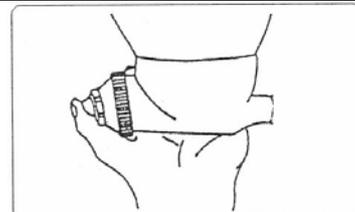
### (5) バルブ押しセットを押し、取手のフックに掛けると吹き放し状態になり、再びフックから外すと吹付停止となります。

## ■ 吹付作業

ノズル・口金の選定、吹付空気圧力の調整を行い、作業に入る前に「試し吹き」をおこない吹付模様の状態を確認の上、「本吹き」を行ってください。

### 重要

・粘度の低い塗材を容器に補給するときは塗材がこぼれないよう、右図のように親指にて口金、ノズル先端を押さえてください。



・吹付方法として、ガンを少し上下方向に振りながら吹付けますと、高粘度塗料が落ちやすく、安定して良い模様や、塗材が出やすく使いやすくなります。



・作業中断時、使用しないときは、洗浄するか、空気ノズルからエアを少量吐出させた状態でノズル又は口金部を水の中に浸けておいてください。作業時の状態で放置しておきますと、塗材が乾き、固着します。

## ■ 洗浄とお手入れ

使用後は塗材が乾かないうちに、塗材付着部をきれいに洗浄してください。

### 重要

#### お手入れの方法

- ・ 使用後は、次回の作業のために塗材の付着部は十分に洗浄してください。
- ・ 洗浄などで口金、カバーを外したときには、空気パイプを曲げないように注意してください。
- ・ 空気ノズル穴には塗材がつまりやすいため、洗浄後はエア吹きをしてください。
- ・ 各ねじ部に塗材が付着していると、部品が取付けにくいばかりか、ねじ部を損傷する場合がありますので、十分に洗浄してください。

## ■ 故障の原因と対策

現 象	原 因	処 理
ガン先端からの空気漏れ	ボールバルブのシート不良	ボールバルブの交換
空気が出ない	コンプレッサから空気が来ていない	コンプレッサを始動する コンプレッサの出口コックを開ける
	空気ノズルの先端に塗材が詰まっている	空気ノズルを取外して洗浄する
	空気パイプ内に異物が詰まっている	空気パイプ先端より針金を通して異物を取り除く
	ボールバルブ内に異物が詰まっている	空気パイプ先端より針金を通して異物を取り除く
塗材の塗出量が少ない	塗材粘度が高すぎる	希釈して塗材粘度を下げる
	容器からの塗材の落ちが悪い	ガンを少し上下方向に振りながら吹き付ける 容器内側の清掃
吹付けが安定しない (息切れ等)	塗材粘度が高すぎる	希釈して塗材粘度を下げる
	容器からの塗材の落ちが悪い	ガンを少し上下方向に振りながら吹き付ける
	吹付空気圧力が高すぎる	吹付空気圧力を下げる
	ノズル・口金が磨耗している	ノズル・口金を交換する
パタンの片寄り	空気パイプの曲がり(空気ノズルの芯ズレ)	空気パイプの曲がりを直す